

感染症情報 10月7日～13日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,258例(堺市	93例)
②感染性胃腸炎	566例(堺市	72例)
③溶連菌感染症	324例(堺市	49例)
④RSウイルス感染症	124例(堺市	8例)
⑤突発性発疹	43例(堺市	1例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 285例(堺市 30例)

報告数による順位。前週比5.6%増の2,454件であった。手足口病が府下で17%増、堺市で前週83例→今回93例であった。定点当たり大阪府では6.39(警報レベル)、堺市は4.89であった。大阪府ではコクサッキーウイルスA6型に加えて、同A16型が検出されているとある。感染性胃腸炎が府下で前週から2%減、堺市で前週47例→今回72例であった(53%増)。溶連菌感染症が府下で11%減、堺市で前週50例→今回49例であった。RSウイルス感染症が府下で33%増、堺市で前11例→今回8例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で59例→47例で20%減。堺市で16例→8例であった。

インフルエンザが府下で前週256例→今回285例は11%増であった。堺市で前週15例→今回30例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 440例(堺市 57例)
大阪府定点 1.44 堺市定点 1.97

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
17	27	20	69	37	29	51	54	25	57	54	440

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府は前回592例→今回440例で26%減、定点当たり1.93→1.44。堺市は前週55例→今回57例で2例増、定点当たり1.90→1.97であった。

麻疹や風疹の報告なし。